

### 【学校生活・総合】について

学校生活全般については、自由記述に見られるように多くの生徒、保護者から肯定的な意見が寄せられ一定の評価をいただいています。しかし、保護者の評価においては、高く評価をいただいているグループと低い評価のグループの二極化の状況が見られました。また、生徒、保護者、教員、三者間での評価が別れていて、その差の大きい項目があるなど、個々の事項については、改善すべき点の指摘もあり、これらを真摯に受け止めて改善を図ります。

### 【学習指導】について

生徒評価、教員評価は、例年の評価と余り変化はありませんが、保護者の評価を見ると「教え方の工夫」の項目については、不十分であるとの評価を受けており、改善の対策が求められています。また、教員は一定の評価をしているものの、生徒、保護者の評価との差がある点は、各教員が更に工夫して、きめ細かい学習指導に努めることが求められています。来年度は、“授業中心主義”を学校経営の一つの柱として取り組みます。

### 【生活指導】について

全般的には例年のレベルとなっています。生活指導面については保護者からは一定の評価をいただいています。しかし、生徒の評価として、問題行動への対応について、また、生徒個々の悩みへの対応や、個々の生徒への細やかな対応については、今後一層の取り組みが求められる結果となっており、今後、個々の生徒状況の把握に努め、きめ細かい対応が求められています。

### 【行事・クラブ活動】について

全般的に保護者の満足度は高いものとなっています。しかし、個々の学年について見ると、大学受験を間近にした高校生にあってはどうしても低い評価となるのは止むを得ない面もあると思われます。しかし、自由記述での意見を踏まえ、高校生活を生徒が“満足”と評価するために、高校生の部活動、行事への参加のあり方について生徒、保護者の意思をしっかりと受け止めて、参加形態の工夫などにより、高校生活の満足度をあげるための改善に努める必要が求められています。

### 【進路指導】について

進路指導説明会や日々の学校での進路指導では、生徒、教員ともに一定の評価をしていますが、高等学校の保護者の評価を見ますと、保護者へは情報が十分に伝わっていない結果となっています。進路指導については、学年会や二者面談、三者面談、学級の懇談会を一層充実し、丁寧な説明が求められています。

### 【保護者連携】について

生徒、教員は例年通りの連携が行われているとの評価ではありますが、保護者は充分ではないとの評価となっています。上記の進路指導の説明での結果とも関連するところであると思われませんが、日々の家庭への連絡や学級懇談会などでの日常的な連携の充実を、教員一人ひとりが意識して保護者連携を確かなものにする必要があります。

### 【施設・安全管理】について

例年と評価に変化はないものとなっています。例年、生徒、保護者からは一定の評価をいただいています。教員評価は低いものとなっています。教員はもっと活発な取り組みができる施設・設

備を求めています。物理的な条件で実行できない思いが評価の結果として現れているものと思われます。限られた物理的な条件の中での工夫と、周辺の施設利用も含め、どう改善すべきかの検討が必要となっています。

#### 【次年度の改善と取り組み】について

今年度は、管理職体制が大きく変化しました。本校を取り巻く厳しい社会環境の変化や、保護者または卒業生等からの要望への対応から、体制の変革を通して学校運営の改善を図ろうとするものです。

個々の担任へは一定の評価はあるものの、学年としての一層のまとまりが求められており、本校の課題ともなっています。次年度の学校経営の柱を“組織としてのまとまり”と“授業中心主義”としており、学習指導においては一層の向上を目標としています。

小学校卒業児童が減少していく中で、基礎学力の定着や学力の伸長を図り、本校のブランドを回復し、保護者の期待に応え、一層の上昇を求めるための新事業である2クラス3展開の授業体制や特待生制度、また追手門コースのしっかりとした基盤づくりに取り組むことが求められています。

自由記述の中でも、本校に寄せられている期待は大きいものがあり、来年度は今回の評価結果を十分に理解し、踏襲・発展すべきところは更なる発展を目指し、改善すべき点は評価を真摯に受け止め、教職員が一丸となって改善し、本校教育の充実に努めてまいります。